

徳島飛行場において本邦と外国との間を往来する航空機と陸地との間の交通
又は貨物の積卸を行う場合に経なければならない場所を指定する揭示

関税法（昭和 29 年法律第 61 号）第 24 条第 1 項に基づき、徳島飛行場において本邦と外国との間を往来する航空機と陸地との間の交通又は貨物の積卸を行う場合に経なければならない場所を次のように指定し、同法施行令（昭和 29 年政令第 150 号）第 22 条第 1 項の規定により公告する。

なお、同施行に伴い、徳島飛行場において本邦と外国との間を往来する航空機と陸地との間の交通又は貨物の積卸を行う場合に経なければならない場所を指定する揭示（平成 22 年 3 月 19 日神小支揭示第 1 号）は廃止する。

平成 30 年 1 月 23 日

小松島税関支署長 ト部 伸二

1. 航空機と陸地との間の交通を行う場合に経なければならない場所は、次に掲げる場所とする。

名 称	交通経由場所	交通対象者
徳島飛行場	徳島空港ターミナルビル 3 階 出国検査場	出国する旅客及び乗組員等
	徳島空港ターミナルビル 1 階 入国検査場	入国する旅客及び乗組員等
	徳島空港ターミナルビル前滑走路 側通路	旅客及び乗組員以外の者

2. 航空機と陸地との間の貨物の積卸を行う場合に経なければならない場所は、次に掲げる場所とする。

名 称	貨物積卸場所
徳島飛行場	2 番、3 番、4 番スポット